

すくすく のびのび いきいき

平成 25 年 11 月 第 3 号 発行：赤穂市教育委員会 ☎ 0791-43-6857

「何事にも前向きに、 精一杯」

教育委員長 池本芳文



10月1日、教育委員長に選任されました池本です。よろしく願います。

第1号の「教育委員会だより」で述べましたが、教育委員会は学校関係から各種教育施設まで広範囲で、まさに0歳から生涯にわたって市民のみなさまに関わる組織です。

昨年のいじめの問題が発生し、赤穂市は第三者委員会による教育組織の改革提言を受け、関係各位の改善努力がなされているところでもあります。8月には第一回赤穂市「いじめ・暴力追放」市民大会が開催され、子どもたちは自主的にこの問題に取り組み、「いじめ」を無くそうと努力しています。すばらしい子どもたちです。

そんな中、10月27日に第三者委員会の最終提言が出されました。内容は、学校力と教師力の充実、子どもたちへのメッセージなど、第三者委員会での協議を総括するものであり、私達はその提言を真摯に受け止め、赤穂市の教育指針として

実行していかねばなりません。武田節の中に、「人は石垣、人は城」の文言がありますように、まさに組織は人により成り立っております。一人一人、互いが信頼できる関係を構築することが肝要だと思います。

いつの時代に於いても問題・課題はあるものです。それを避けていては、解決しないだけでなく事態は悪くなる方へ向かうだけです。問題に直面し逃げないこと、前向きに問題に取り組み、一つ一つ解決しようとすれば必ずや、自ずと解決策が見つかるものだと思います。

私は各担当職員と協力し合って、赤穂市の教育行政の将来を見据え、共に進めてまいりたいと思っております。教育委員会へのご支援・ご鞭撻、よろしく願います。

いじめ問題等再発防止に係る
第三者委員会
最終提言

いじめ問題等再発防止に係る 第三者委員会 最終提言

10月27日(日)、今回最終となる提言書が、浅野委員長より池本教育委員長に手渡されました。

この提言書は、第一次提言と第二次提言、さらに今回の第三次分をまとめた「総括提言」として作成されており、昨年の事件発生以来、検証や分析、協議を繰り返してきた内容が、提言として八項目に分けて記載されています。

また、この提言書は、いじめや暴力を追放するために、それぞれの立場の大人が、自分の役割を認識し、何ができるか

を考えるためのガイドラインでもあり、提言は、赤穂市の教育委員会と学校が抱える課題が客観的にそして的確に捉えられており、教育委員会や学校の今後の方向性とあり方の指標となるものであります。

これまで、赤穂市の学校現場を知らない外部の委員に何が分かるのかという拒否反応や、提言に基づく取り組みは、多忙化に拍車をかけるようなものだという否定的な意見もありました。

しかし、学校は変わりつつあります。それは、教師一人一人の意識が変わりつつあるからです。

組織は、現状を維持し経験則に基づいて従来通り動いていくことが「安定」だと捉えがちですが、何も変わらないうちに将来の「安定」はありません。また、子どもや保護者、市民の願いは学校の「安心」であり、私たち自身が「変わる」とに対して、ためらいがあるとすれば、それは、多くの方の思いと乖離していると言わざるをえません。

提言を謙虚に受け止め、自分を振り返り、常に「学び」を大切にし、自己の教師力と学校のチーム力を充実・向上させることでもあります。その提言が外部からでも、内部からでも同じです。また、この機会を生かし、学校が変わるのは今です。

私たちは、子どもの健全な成長のためになんばろうと決めた初心を忘れず、再発防止と信頼回復につながる取り組みを前進させなければなりません。

◇最終提言書は、赤穂市ホームページに掲載しています。

学校園の耐震補強等を推進しています

本市の公立学校園の整備は、市ホームページの「小学校・中学校及び幼稚園の耐震診断結果について」でお知らせしておりますとおり、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」に基づく国の学校施設環境改善交付金等を財源として、耐震化を最優先に取り組んでいます。あわせて施設の老朽化対策のための大規模改造や太陽光パネル設置についてもこの交付金を活用し、計画的に事業を推進しています。

なお施設整備は、事業の進捗状況や今後の事業量、国の財源措置の状況等を勘案しながら、少しでも早く耐震化が完了できるよう計画の見直しや変更を行いながら実施していきます。



加里屋川側から見た赤穂小学校の耐震化の状況

一、本市の公立の義務教育諸学校等施設の耐震化整備状況

保有棟数及び耐震化の状況 (平成25年3月末現在)

区分	棟数(a)	(a)のうちS56年以前に建設された棟			耐震化率%
		耐震診断実施率	うち耐震性のある棟	うち耐震性のない棟	
小学校	43棟	26棟	100%	14棟 12棟	73.3%
中学校	32棟	23棟	100%	15棟 8棟	
幼稚園	12棟	9棟	100%	0棟 9棟	25.0%

二、公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標

○地震、津波等の災害に備えるための整備

耐震診断により耐震補強が必要とされた小中学校については、平成27年度末までに耐震化率100%を達成するため、校舎や屋内運動場の耐震化を進めています。

赤穂小学校、塩屋小学校、赤穂西小学校、尾崎小学校、御崎小学校、坂越小学校、高雄小学校、

赤穂中学校、赤穂西中学校、赤穂東中学校が対象で、平成24年度から平成26年度に、このうちの17棟の耐震化を行うこととしています。

また、幼稚園については平成23年度に実施した耐震診断により、7園9棟の園舎において耐震化が必要と判断されたことから、平成26年度にこのうちの4園5棟について耐震補強を行う計画です。対象となるのは、赤穂西幼稚園、御崎幼稚園、坂越幼稚園、高雄幼稚園です。残りの3園4棟については、耐震補強が困難と判定されたため、改築計画を策定することとしています。対象となるのは、赤穂幼稚園、塩屋幼稚園、尾崎幼稚園です。今後、平成27年度末までに、耐震化率が100%になるよう取り組んでいきます。

○教育環境の質的な向上を図る整備

教育環境の向上を図るため、施設の老朽化が進んでいる赤穂小学校、塩屋小学校、尾崎小学校、御崎小学校、坂越小学校、高雄小学校、赤穂中学校については、耐震化と併せて大規模改造事業を行います。

また、地球温暖化対策への貢献や環境教育に活用するため、すでに設置した赤穂小学校、尾崎小学校、坂越小学校に続き御崎小学校、高雄小学校、赤穂中学校にも太陽光発電設備を導入します。

さらに、それ以外の学校についても整備を検討していくこととしています。

◎公立学校園施設の整備については、平成27年度に向けて耐震化工事を最優先で行っていきませんが、平成28年度以降は教育環境の向上を図るため、大規模改造工事、太陽光パネル設置工事に引き続き取り組んでいきます。

少しでも早く児童生徒の教育環境の向上を図るべく取り組んでいきますので、円滑な事業の推進に市民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願います。

赤穂勢中学男女で三位入賞！

第七回赤穂義士杯青少年柔道大会が、8月25日(日)、赤穂市民総合体育館で開催されました。赤穂勢も日頃の練習の成果を存分に発揮して健闘し、中学校男子の部で赤穂中学校、同女子の部で赤穂東中学校が、それぞれ三位入賞を果たしました。なお、赤穂中男子は、二年連続の三位入賞となりました。

「この大会で優勝を目指していたが、準決勝で敗れ残念だった。次の西播新人大会に勝って、県大会への弾みにしたい。」
 (赤穂中学校男子柔道部 陰山主将)

「久しぶりにメダルを獲得できて嬉しかった。次の大会も上位目指してがんばりたい。」
 (赤穂東中学校女子柔道部 新田主将)



赤穂中学校男子チーム



赤穂東中学校女子チーム

大会結果は次のとおり

○小学生の部

- 第一位 二見少年柔道クラブ(明石市)
- 第二位 龍野若竹会(たつの市)
- 第三位 野々池柔道サークル(明石市)

〃 将祥柔道館(姫路市)

- 〇中学校男子の部
- 第一位 小野中学校(小野市)
- 第二位 報徳学園中学校(西宮市)
- 第三位 野々池中学校(明石市)

〃 赤穂中学校(陰山②、松村②、吉田②、竹内①、関口①、宮本①)

〇中学校女子の部

- 第一位 小野中学校(小野市)
 - 第二位 宝殿中学校(高砂市)
 - 第三位 水丘中学校(加古川市)
- 〃 赤穂東中学校(新田②、田畑①、駒澤①)

赤穂市子ども会将棋・オセロ大会

例年開催されている赤穂市子ども会将棋大会(赤穂市子ども会指導者連絡協議会主催)に加え、本年度よりオセロ大会が8月10日(土)に赤穂市民会館大会議室にて行われました。

将棋大会は50名の参加者があり、昨年に引き続き連覇を達成した実力者や、学年が上がって出場部門が変わっても優秀な成績を収める参加者も多く見られ、劣勢に追い込まれても最後まで諦めない粘り強い将棋が展開されていました。

オセロ大会については、今年はいじめの試みでしたが、参加者が86名と将棋大会を大きく上回る参加申込があり、盛況のうちに終えることができました。

各部門の優勝者はいずれも最高学年では無く、

学年を超えてそれぞれが実力をいかんなく発揮し、大人顔負けの熱戦が展開されました。特にオセロは、ルールの分かりやすさからか女子の参加者も多く、小学校低学年・高学年の部ともに優勝を果たす大健闘を見せました。

上位入賞者は、将棋が西播大会、オセロが県大会に進出することになっていますので、選手の健闘を期待したいと思います。

大会結果は次のとおり

◆将棋大会

- 〇小学校低学年の部 優勝 寺田圭次郎(赤穂小3)、準優勝 山谷有澄(塩屋小3)、第3位 内田蒼一郎(赤穂小2)、笠井大輝(塩屋小3)
- 〇小学校高学年の部 優勝 亀谷稜介(塩屋小6)、準優勝 市谷勇成(塩屋小4)、第3位 明石拓也(赤穂小6)、中川恵介(坂越小6)
- 〇中学生の部 優勝 中西崇之(赤穂中3)、準優勝 丸尾公平(坂越中3)、第3位 佐井太地(赤穂中1)



◆オセロ大会

- 〇小学生低学年の部 優勝 竹本紗也加(有年小2)、準優勝 丸尾爽太(坂越小3)、第3位 高野咲希(塩屋小2)、井上悠太郎(御崎小3)
- 〇小学校高学年の部 優勝 佐藤悠稀(城西小5)、準優勝 中地力篤(尾崎小4)、第3位 倉八諒汰(塩屋小6)、八木寛斗(塩屋小6)
- 〇中学生の部 優勝 清水龍聖(赤穂東中1)、準優勝 安部隼平(赤穂西中2)、第3位 山根慎司(赤穂西中3)、前田舞衣(坂越中2)

文化財保護連絡員の紹介

ご紹介

市内各地区には、さまざまな文化財が数多く残されています。地域の歴史を今に伝える貴重な文化財を顕彰し、末長く継承していくため、教育委員会では地区ごとに文化財保護連絡員を委嘱して、地域の文化財に関する情報提供、点検活動、調査研究など地域に根ざした活動をお願いしています。

地域のみなさまとともに貴重な歴史文化遺産について考え、保護と活用を推進していただく地域のリーダーとして、現在ご活躍いただいているのは、次のみなさんです。

- | | | |
|----|------|------|
| 赤穂 | 矢野 剛 | 北畠恵子 |
| 城西 | 司波多聞 | 山田明憲 |
| 塩屋 | 山本建志 | 木村繁満 |
| 西部 | 赤松光弘 | 吉栖清美 |
| | 児島保男 | |
| | 山本光輝 | |
| 尾崎 | 上杉太郎 | 目木敏明 |
| 御崎 | 山脇拓士 | 林 宣男 |
| 坂越 | 三木 忠 | 濱本陸志 |
| | 川本 勝 | |
| | 山本 稔 | 松本 茂 |
| 高雄 | 山本良彦 | |
| | 三田勝一 | |
| | 本田勝一 | 池本芳文 |
| 有年 | 竹平慎一 | 福井詔生 |
- (任期…平成25年4月1日～平成27年3月31日)

子どもたちの発達を伝えたい

運動会

VOICE 教育現場の声

今回は、幼稚園、保育所の運動会を紹介します。

親子のふれあいの場として、また子ども達の運動能力の発達を伝える機会として、園所ごとに、さまざまな工夫を凝らした運動会が開催されました。

まったた まったた うんどうかい

塩屋幼稚園

大雨警報で2日も途中降園という残念な二学期の始まり。でも、運動会に向かって走りたい・忍者になってチャレンジしたい・よさこいソーランを踊りたい・綱引きがしたいという子どもたちは、より一層、集中して、毎日、汗をいっぱいかいて全身で運動遊びにチャレンジしていました。そのパワフルな様子から「心をつなげて、パワー全開」というテーマで運動会に向けて取り組んでいきました。

元気溢れる思いを込めた「よさこいソーラン」でのス



タート。「塩屋幼稚園、よさこいソーラン」「構え」と、空に響く勢いのある年長児のかけ声で、全園児の気持ちが一つになって踊ることができました。

友だちと一緒にやり遂げた一人一人の成長が見えた運動会となりました。

地域の絆が更に深まった運動会

赤穂西幼稚園

幼・小合同地区連合運動会が始まって3年目。「仲間と絆を深め心に残る運動会」のテーマ通り、園児、児童、保護者、地域が一つになって今年も大いに盛り上がりました。

一学期からなかよし班で幼・小の交流があり、更に運動会への取り組みの中で、園児たちが楽しめるようにとリードしてくれた小学生。優しく接してもらったり、励ましてもらったりしたことが園児たちには大きな支えになり、どの種目も張りきってできました。

また、友だちと協力すること、お互いの頑張りを認め合うこと、最後まであきらめないことの大切さを小学生の姿から学ぶことができました。

運動会を通して、よき小学生を身近に感



じ、憧れが強くなってきています。心身共に、たくましく大きく成長できた運動会は、とても貴重な体験となりました。

元気いっぱい 笑顔いっぱい 表現豊かな子

塩屋保育所

「運動会がんばるぞー」

0歳児のプログラムは、親子玉入れ ↓午前睡 ↓親子ダンス。

歩く、走る、跳ぶの運動機能が発達してきた1〜2歳児は、保育士目指してヨーイドン。

3歳児になると、体の動きが巧みになってくることから、鉄棒での足抜き回りに挑戦しました。

4、5歳児は、4月から取り組んできた、天狗ポックリや竹馬で演技をしようと、一人一人が、意欲的に目的に向かって頑張りました。

「エビカニクス」のダンスで始まった運動会。その走りなのか、転ぶのか、かわいさ100%のかけっこ。集中した、天狗ポックリと竹馬、あまちゃんのリズム曲にのってサーキット。当日がNo.1だった組体操、力一杯走り抜いたリレー。

今は、運動会の熱い思いが一杯詰まった写真がクラスに飾られています。

